

【提出書類A】

奨学金振込口座届

課程	研究科	学籍番号	氏名
修士 博士後期 専門職			フリガナ
銀行名 (銀行コード)	支店名 (支店コード)	口座番号	
()	()		

- * 上記太線枠内に記入の上、下の部分に通帳のコピーを貼ってください。
- * 銀行コードおよび支店コードが不明な場合は <http://zengin.aitw.net/> で調べて記入してください(銀行コード例:みずほ0001、三菱東京UFJ0005、三井住友0009、りそな0010、埼玉りそな0017)。

銀行通帳のコピー 糊付け欄

銀行通帳の銀行名・支店名・口座番号・本人氏名が記載されている部分をコピーして、貼付してください。ゆうちょ銀行は不可です。

- ・銀行は普通銀行(都銀、地銀、第二地銀)・信用金庫・労働金庫に限ります。(ゆうちょ銀行、ネット銀行、外資系銀行、信託銀行、JA等は不可)
- ・口座は本人名義の普通預金口座(総合口座を含む)に限ります。(貯蓄預金口座、当座預金口座は不可)
- ・出願時までに銀行の統廃合等があった場合は、銀行からの通知等で確認するか、直接銀行へ問い合わせ確認し、正しい(新しい)銀行名・支店名・支店番号・口座番号を通帳のコピーに記入の上、貼り付けてください。

【提出書類B】

本人および配偶者の最新の「所得証明書」または
「非課税証明書」添付用紙

課程	研究科	学籍番号	氏名
修士 博士後期 専門職			フリガナ

上記枠内に記入の上、下線部以下に提出書類を貼ってください。

↓この線より下の部分に糊付けしてください（折り曲げ可）。

本人および配偶者、両方の最新の所得証明書類を添付

- ※ 市区町村役場で発行している最新の「所得証明書」、「（非）課税証明書」または「地方税交付通知書」を貼付すること。
- ※ 収入の有無に関わらず、全員が提出すること。
- ※ 配偶者がいる方は、配偶者分も提出のこと（配偶者分は本人分の下に重ねて貼付してください）。
- ※ 申請時点で発行される最新の収入・所得内容が記載されているものを提出すること（収入がない場合は、「非課税証明書」を提出することにより、収入がないことの証明になります）。

【提出書類C】 2012年(1月～12月)の収入実績申告書

私の2012年の収入実績は以下のとおりで相違ありません。

添付書類: 合計 点 を本用紙に添えて提出します。

学籍番号:
氏名: 印

収入区分	定職	アルバイト	父母からの給付	奨学金	その他 (預貯金の取崩し等)	配偶者の有無: 有・無	
						配偶者の定職: 有・無 (有の場合、下記へ記入)	
2012年中の 収入額 (1万円未満切捨て)	合計 万円	合計 万円	(a～dの合計) 合計 万円	合計 万円	合計 万円	合計 万円	合計 万円
内容	職業: 勤務先: 添付書類: (いずれかを添付。コピー可) ア 源泉徴収票(2012年分) イ 確定申告書控(2012年分) ウ その他() 特記事項:	勤務先① 名称: ()万円/年額 信憑書類の有無: 有・無 ・源泉徴収票 ・確定申告書控 ・給与明細(年 月～ 月) ・その他() 勤務先② 名称: ()万円/年額 信憑書類の有無: 有・無 ・源泉徴収票 ・確定申告書控 ・給与明細(年 月～ 月) ・その他() 勤務先③ 名称: ()万円/年額 信憑書類の有無: 有・無 ・源泉徴収票 ・確定申告書控 ・給与明細(年 月～ 月) ・その他()	a. 日常生活費(食費・住居費等): ()万円/年額 b. 授業料: ()万円/年額 以下を参照のこと。 法政大学国際文化学部 845,000円 法政大学他文系学部 755,000円 法政大学理工系学部 1,066,000円 * 上記以外は各自で調べること c. 通学費(定期代等): ()万円/年額 d. 小遣い・その他 ()万円/年額	日本学生支援機構 ()万円/年額 (内訳) 月額_____円×()か月分 * 内容を確認できる書類を添付すること (2013年1月～3月に学部で受けていた 機構奨学金分は不要) その他の奨学金① 名称: ()万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること その他の奨学金② 名称: ()万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	預貯金取崩し ()万円/年額 年金 ()万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること 雇用保険 ()万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること その他() ()万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	配偶者氏名: 職業: 勤務先: 添付書類: (いずれかを添付。コピー可) ア 源泉徴収票(2012年分) イ 確定申告書控(2012年分) ウ その他() 特記事項:	

【注意事項】

裏面の記入例をよく読み、太枠内にもれなく記入・押印すること。
 1万円未満は切り捨てて記入すること。
 アルバイト先が三カ所以上ある場合など、書ききれない場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた総合計とすること。
 添付書類は本用紙の左上にそろえてホチキス留めすること。

<事務使用欄>

【提出書類C】 2012年(1月～12月)の収入実績申告書

記入見本

私の2012年の収入実績は以下のとおりで相違ありません。

添付書類: 合計 2 点を本用紙に添えて提出します。

学籍番号: 13P9999
氏名: 法政 富士子 印

収入区分	定職	アルバイト	父母からの給付	奨学金	その他 (預貯金の取崩し等)	配偶者の有無: 有・無 配偶者の定職: 有・無 (有の場合、下記へ記入)
2012年中の 収入額 (1万円未満切捨て)	合計 0 万円	合計 88 万円	(a～dの合計) 合計 205 万円	合計 60 万円	合計 0 万円	合計 0 万円
内容	<p>申請者本人に定職があった場合はこの欄に記入し、書類を添付</p> <p>添付書類: (いずれかを添付。コピー可) ア 源泉徴収票(2012年分) イ 確定申告書控(2012年分) ウ その他()</p> <p>添付書類1</p> <p>特記事項:</p> <p>信憑書類がないので、申告内容の算出根拠を記入</p>	<p>勤務先① 名称: ΔΔ学習塾 (60)万円/年額 信憑書類の有無: 有・無 源泉徴収票・確定申告書控 ・給与明細(年 月～ 月) ・その他()</p> <p>勤務先② 名称: 家庭教師 2012年2月で終了 (28)万円/年額 信憑書類の有無: 有・無 源泉徴収票・確定申告書控 ・給与明細(年 月～ 月) ・その他(日給6,000円×週1回×4週×12か月)</p> <p>勤務先③ 名称: ()万円/年額 信憑書類の有無: 有・無 源泉徴収票・確定申告書控 ・給与明細(年 月～ 月) ・その他()</p>	<p>a. 日常生活費(食費・住居費等): (120)万円/年額</p> <p>b. 授業料: (75)万円/年額</p> <p>以下を参照のこと。 法政大学国際文化学部 845,000円 法政大学他文系学部 755,000円 法政大学理工系学部 1,066,000円 * 上記以外は各自で調べる</p> <p>c. 通学費(定期代等): (10)万円/年額</p> <p>d. 小遣い・その他 (0)万円/年額</p>	<p>日本学生支援機構 (60)万円/年額 (内訳) 月額 50,000 円×(12)か月分</p> <p>* 内容を確認できる書類を添付すること (2013年1月～3月に学部で受けていた機構奨学金分は不要)</p> <p>その他の奨学金① 名称: ()万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること</p> <p>その他の奨学金② 名称: ()万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること</p>	<p>預貯金取崩し (0)万円/年額</p> <p>添付書類2</p> <p>年金 (0)万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること</p> <p>雇用保険 (0)万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること</p> <p>その他() ()万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること</p>	<p>配偶者氏名: 職業: 配偶者がいて、その方が定職を持っている場合はこの欄に記入</p> <p>添付書類: (いずれかを添付。コピー可) ア 源泉徴収票(2012年分) イ 確定申告書控(2012年分) ウ その他()</p> <p>特記事項:</p>

【注意事項】

裏面の記入例をよく読み、本枠内にもれなく記入・押印すること。
1万円未満は切り捨てて記入すること。
アルバイト先が三カ所以上ある場合など、書ききれない場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた総合計とすること。
添付書類は本用紙の左上にそろえてホチキス留めすること。

<事務使用欄>

【提出書類D】 2013年(1月～12月)の収入見込み申告書

私の2013年の収入見込みは以下のとおりで相違ありません。

添付書類： 合計 点 を本用紙に添えて提出します。

学籍番号：
氏 名： 印

収入区分	定 職	アルバイト	父母からの給付	奨学金	その他	配偶者の有無： 有 ・ 無
		(2013年3月までに退職したものは除く)		2013年3月までに終了のもの・申請予定・申請中のものは除く	(預貯金の取崩し等)	配偶者の定職： 有 ・ 無 (有の場合、下記へ記入)
2013年中の収入見込み額 (1万円未満切捨て)	合計 万円	合計 万円	(a～dの合計) 合計 万円	合計 万円	合計 万円	合計 万円
内 容	職 業： 勤務先： 年収算出基礎(いずれかに○)： ア 2012年と同等見込 イ 2012年より増額見込 理由： ウ 2012年より減額見込 理由： *すでに離職している場合は退職証明を添付 *今後退職予定の場合は、離職予定日を記入 (年 月 日離職予定) *転職の場合はその日付を記入し、新勤務先の給与明細を添付。 (年 月 日転職)	勤務先① 名称： ()万円/年額 年収算出基礎： 勤務先② 名称： 収入 ()万円/年額 年収算出基礎： 勤務先③ 名称： 収入 ()万円/年額 年収算出基礎：	a. 日常生活費(食費・住居費等)： ()万円/年額 b. 授業料： ()万円/年額 授業料については以下を参照のこと。 http://www.hosei.ac.jp/gakusei/index.html c. 通学費(定期代等)： ()万円/年額 d. 小遣い・その他 ()万円/年額	日本学生支援機構 ()万円/年額 (内訳) 月額_____円×()か月分 *内容を確認できる書類を添付すること その他の奨学金① 名称： ()万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること その他の奨学金② 名称： ()万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	預貯金取崩し ()万円/年額 年金 ()万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること 雇用保険 ()万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること その他() ()万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	配偶者名： 職 業： 勤務先： 年収算出基礎(いずれかに○)： ア 2012年と同等見込 イ 2012年より増額見込 理由： ウ 2012年より減額見込 理由： *すでに離職している場合は退職証明を添付 *今後退職予定の場合は、離職予定日を記入 (年 月 日離職予定) *転職の場合はその日付を記入し、新勤務先の給与明細を添付。 (年 月 日転職)

【注意事項】

裏面の記入例をよく読み、太枠内にもれなく記入・押印すること。
1万円未満は切り捨てて記入すること。
アルバイト先が三カ所以上ある場合など、書ききれない場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた総合計とすること。
添付書類は本用紙の左上にそろえてホチキス留めすること。

<事務使用欄>

【提出書類D】 2013年(1月～12月)の収入見込み申告書

記入見本

私の2013年の収入見込みは以下のとおりで相違ありません。

添付書類: 合計 0 点を本用紙に添付して提出します。

この例では、2013年2月まで家庭教師をしていたが、それは含まない。

2013年3月までに終了したものは含まない。

学籍番号: 13P9999

氏名: 法政 富士子 印

収入区分	定職	アルバイト		父母からの給付	奨学金	その他	配偶者の有無・定職	
		(2013年3月までに退職したものは除く)	(a～dの合計)				(預貯金の取崩し等)	有・無
2013年中の収入見込み額 (1万円未満切捨て)	合計 0 万円	合計 48 万円	合計 173 万円	合計 0 万円	合計 60 万円	合計 0 万円	合計 0 万円	
内容	職業: 勤務先: 年収算出基礎(いずれかに○):	勤務先① 名称: △△学習塾 (30)万円/年額 年収算出基礎: 2012年は週2日勤務だったが、 2013年は週1日になるので半減見込	a. 日常生活費(食費・住居費等): (120)万円/年額 b. 授業料: (53)万円/年額 授業料については以下を参照のこと。 http://www.hosei.ac.jp/gakusei/index.html	日本学生支援機構 ()万円/年額 (内訳) 月額_____円×()か月分 *内容を確認できる書類を添付すること	預貯金取崩し (60)万円/年額 年金 ()万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	配偶者名: 職業: 勤務先: 年収算出基礎(いずれかに○): ア 2012年と同等見込 イ 2012年より増額見込 理由: ウ 2012年より減額見込 理由:		
	ウ 2012年より減額見込 理由: *すでに離職している場合は退職証明を添付 *今後退職予定の場合は、離職予定日を記入 (年 月 日離職予定)	勤務先② 名称: 法政大学TA 収入 (18)万円/年額 年収算出基礎: 1コマ4,200円×3コマ×週1日×15週	c. 通学費(定期代等): (0)万円/年額	その他の奨学金① 名称: ()万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	その他の奨学金② 名称: ()万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	雇用保険 ()万円/年額 その他() ()万円/年額 *すでに離職している場合は退職証明を添付 *今後退職予定の場合は、離職予定日を記入 (年 月 日離職予定)		
	*転職の場合はその日付を記入し、新勤務先の給与明細を添付。 (年 月 日転職)	勤務先③ 名称: 収入 ()万円/年額 年収算出基礎:	d. 小遣い・その他 (0)万円/年額					

雇用契約書など、内容の確認ができる書類があれば添付すること。

【注意事項】

裏面の記入例をよく読み、太枠内にもれなく記入・押印すること。
1万円未満は切り捨てて記入すること。
アルバイト先が三カ所以上ある場合など、書ききれない場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた総合計とすること。
添付書類は本用紙の左上にそろえてホチキス留めすること。

<事務使用欄>

【提出書類 I】

法政大学大学院・100周年記念大学院特別奨学金申請書

提出日：2013年 月 日

I. 出願者

課程	研究科	専攻	学年	学籍番号
修士・博士後期・専門職				
氏名(フリガナ)	生年月日		連絡先	
	年	月	日生	自宅TEL： 携帯TEL：

II. 収入状況 *【提出書類C】および【提出書類D】に記載した収入区分の合計額を記入すること

収入区分	収入金額(年額・税込・1万円未満切捨て)	
	2012年(実績)	2013年(見込み)
定職	万円	万円
アルバイト	万円	万円
父母からの給付	万円	万円
奨学金	万円	万円
その他	万円	万円
配偶者の定職	万円	万円
合計	万円	万円

III. 履歴 *大学卒業後または大学院修了後の履歴(学歴・職歴・自己研修・家事従事等を含む)をすべて西暦で記入(※選択)すること

年 月	() 大学卒業
年 月 ~ 年 月	() 大学院(※修士・博士後期・専門職)課程修了
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
20 年 月	法政大学大学院(※修士・博士後期・専門職)課程入学 現在にいたる

IV. 家庭事情 *奨学金を希望する家庭事情や、その他特に説明を要することを具体的に記入すること

V. 誓約欄

- 本奨学金申請書の記載事項に相違ないことを誓約いたします。
- 採用後、休学・退学・除籍等により採用取消になった場合には、大学からの指示により採用年度内に奨学金の全額または一部を返還することを誓約いたします。

本人 (自署・押印)	現住所	
	氏名	印

この書類に記入された個人情報は、本奨学金選考にのみ使用します。

【提出書類 I】

記入見本

法政大学大学院・100周年記念大学院特別奨学金申請書

提出日：2013年 4月 11日

I. 出願者

課程	研究科	専攻	学年	学籍番号
修士・博士後期・専門職	人文科学	哲学	1	13P9999
氏名(フリガナ)	生年月日	連絡先		
ホセイ フジコ 法政 富士子	1990年4月10日生	自宅TEL：03-3264-9488 携帯TEL：000-1111-2222		

II. 収入状況 *【提出書類C】および【提出書類D】に記載した収入区分の合計額を記入すること

収入区分	収入金額(年額・税込・1万円未満切捨て)	
	2012年(実績)	2013年(見込み)
定職	0万円	0万円
アルバイト	88万円	48万円
父母からの給付	205万円	173万円
奨学金	60万円	0万円
その他	0万円	60万円
配偶者の定職	0万円	0万円
合計	353万円	281万円

【提出書類C】および【提出書類D】と同じ数字を記入すること！

III. 履歴 *大学卒業後または大学院修了後の履歴(学歴・職歴・自己研修・家事従事等を含む)をすべて西暦で記入(※選択)すること

2013年3月	(法政大学) 大学卒業
	() 大学院(※修士・博士後期・専門職) 課程修了
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
2013年4月	法政大学大学院(※修士・博士後期・専門職) 課程入学 現在にいたる

IV. 家庭事情 *奨学金を希望する家庭事情や、その他特に説明を要することを具体的に記入すること

必ず記入すること！

V. 誓約欄

- 本奨学金申請書の記載事項に相違ないことを誓約いたします。
- 採用後、休学・退学・除籍等により採用取消になった場合には、大学からの指示により採用年度内に奨学金の全額または一部を返還することを誓約いたします。

本人 (自署・押印)	現住所	申請者が自署・押印	印
	氏名		

この書類に記入された個人情報は、本奨学金選考にのみ使用します。

【提出書類 J】

研究計画書・指導教員推薦書

課程	研究科	専攻	学年	学籍番号	氏名
修士 博士後期 専門職					

研究計画欄

研究題目（研究分野）（50文字程度にまとめること）

あなたの大学院進学のための目的と研究計画を記入してください。（400字程度にまとめること）

指導教員（または専攻主任）推薦欄

上記の学生は、学業成績・人物ともに、法政大学給付奨学生としてふさわしい者として、推薦いたします。

指導教員（または専攻主任）氏名 _____ 印

2013年度 奨学金申請書類（大学院生用）

（この封筒は申請カードを兼ねていますので、丁寧に取り扱いってください）

提出日： 2013年4月 日

課程	研究科	専攻	学年	学籍番号	フリガナ	
修士 博士後期 専門職					氏名	
旧学籍番号	法政大学出身者のみ 学部または修士在籍時の番号を記入 (この学籍番号の成績を選考に利用します)			連絡先	自宅☎ () 携帯☎ ()	

父母との同・別居	本人の定職	配偶者	配偶者の定職
1. 同居	1. あり	1. あり	1. あり
2. 別居	2. なし	2. なし	2. なし

修業年限 (入学から修了までの年限)			
1年	2年	3年	4年

I 法政大学大学院奨学金・法政大学100周年記念大学院特別奨学金（給付）

大学独自奨学金申請の有無	
申請する	申請しない

外国人留学生区分	
留学生ではない	留学生である

※外国人留学生は日本学生支援機構奨学金には申請できません。

II 日本学生支援機構奨学金（貸与）

1	2	3	8	9	0
第一種のみ (無利子)	第一種不採用 の場合第二種	第二種のみ (有利子)	第二種貸与中だが、 第一種へ変更希望	第一種貸与中だが、 第二種へ変更希望	申請しない ※現在貸与中で、種別 の変更を希望しない者 を含む

【2013年度 新入生のみ対象】

入学時特別増額奨学金の貸与		【注意】入学時特別増額奨学金は、利率も若干高く、別途提出書類が必要な場合もあります。 詳細については「奨学金を希望する皆さんへ」を熟読してください。
希望する(注意参照)	希望しない	

【提出書類チェックリスト】 ※ 提出書類については、案内冊子をよく読んでください。

該当	提出書類	チェック欄	主な注意事項
日本学生支援機構・大学独自奨学金共通	A. 奨学金振込口座届		【提出書類A】 ※通帳コピーを添付すること（全員提出）
	B. 本人および配偶者の最新の「所得証明書」または「非課税証明書」		【提出書類B】 ※記載されている書類を添付すること（全員提出）
	C. 2012年の収入実績申告書		【提出書類C】 ※記載されている書類を添付すること（全員提出）
	D. 2013年の収入見込み申告書		【提出書類D】 ※記載されている書類を添付すること（全員提出）
	E. 学業成績証明書		※新入生のみ提出すること。2年生以上は提出不要。 ※修士1年は大学(学部)分、博士後期1年は修士課程分を提出すること。ただし、本学を1998年度以降に卒業した者は提出不要 該当者は上欄に「旧学籍番号」を必ず記入しておくこと ※正課の証明書のみ有効（研究生の成績証明書は提出不要）
日本学生支援機構奨学金のみ	F. 記入済の「スカラネット入力下書き用紙」とそのコピー（1部）		記入済のもと、記入済のコピーを各1部提出 ※パソコンでの入力は、申請書類が受理された後各自で行う
	G. 確認書兼個人情報取扱いに関する同意書		「第一種不採用の場合第二種」応募者は、「第一種」用と「第二種」用の両方を提出すること
	H. 指導教員推薦所見		指導教員に推薦所見記入・署名・捺印を依頼 ※定職のある方および週21時間以上のアルバイトに従事している方は、その仕事が研究に支障がないと認められる旨を明記してもらうこと
大学独自奨学金のみ	I. 法政大学大学院・100周年記念大学院特別奨学金申込書		【提出書類I】 ※漏れなく記入・押印のこと
	J. 研究計画書・指導教員推薦書		【提出書類J】 ※学籍欄・研究計画欄を記入し、指導教員（または専攻主任）に署名・捺印を依頼

＜事務使用欄＞

書類審査（1回目）		書類審査（2回目）		受理/ID 交付
不備内容	担当者・月日	不備内容	担当者・月日	担当者・月日